

Digital National Security Archive アメリカ外交政策極秘文書シリーズ Web版

アメリカとロシア：
ソビエト連邦の崩壊からプーチンの台頭まで

U.S.-Russia Relations: From the Fall of the Soviet Union to the Rise of Putin, 1991-2000

ロシア連邦の建国から10年間の米露関係を探る

1991年のソビエト連邦の崩壊およびロシア連邦の建国から、プーチン大統領の就任までの10年間を対象として、米露関係に関する2,400点の文書を収録するコレクションです。米国国務省、国防省、米国大使館・領事館、米国国家安全保障会議、ホワイトハウス、ロシア議会等が所有する文書を収録し、大統領府を含む政府高官の意志決定およびロシアの外交姿勢を調査することができます。

エリツィン大統領・クリントン大統領間における米露協力関係の構築、ロシアによるNATO拡大への反対、プーチン大統領の就任直後に感じられる冷戦回帰など、1991年からの10年間は米露関係を分析するうえで肝要な時期です。

さらに当コレクションは、Nunn-Lugar Projectによって収集された、米露の戦略核兵器削減のための協力関係における、脱核兵器、核不拡散に関する文書も収録します。米露のみならず、カザフスタンやウクライナの政府高官が参加した機密会議のために用意された資料等、兵器削減に対する各国の姿勢を記録した貴重な資料群です。

Digital National Security Archive アメリカ外交政策極秘文書シリーズ Web版

機密解除文書を中心にアメリカ政府の外交関連文書を収録するデータベースです。重要な国家政策の形成・施行過程に関するアメリカ政府機関の文書を収集・公開する非営利団体、The National Security Archive (NSA、アメリカ国家安全保障アーカイブ)とクラリベイトの協力の下、NSAの所蔵文献の中から特に重要な文献を選び、学術研究向けに編纂して提供します。

**NATIONAL
SECURITY
ARCHIVE**

ハイライト

当コレクションのハイライトとして、ロシアがNATOの拡大に反対し、試行錯誤する様子を記録した文書が挙げられます。1977年に署名されたロシアNATO基本議定書について、エリツィン大統領は「強制された1歩 (forced step)」であり、NATOの拡大へ反対する本音とは裏腹に、署名せざるを得ないものだったとクリントン大統領へ語りました。さらに、NATOを冷戦時の同盟と認識するロシアは、NATOの拡大ではなく、新たな欧州の安全保障機構を構築・強化するよう、米国政府高官へ説得を重ねました。

NATO拡大に対するエリツィン大統領の思惑、そしてロシア議会による反NATO派閥の活動等を記録し、NATOとロシアを巡る状況を明らかにします。(裏面の収録文書例もご参照ください)



United States Department of State, Deputy Secretary. 1998.
[Photo of Ambassador Vorontsov; Attached to Cover Page].

当コレクションがカバーするトピック例

ヨーロッパの安全保障問題 / 各地域で発生した紛争への対応 / 民主化 / 核兵器削減、核不拡散 / ウクライナ、ベラルーシ、カザフスタンからの核兵器撤退に関する交渉 / チェチェン紛争とロシア / 旧ユーゴスラビアにおける平和維持活動へのロシアの参加 / NATOの東欧・中欧への拡大とロシアの交渉 / オリガルヒの台頭

日本販売総代理店



紀伊國屋書店

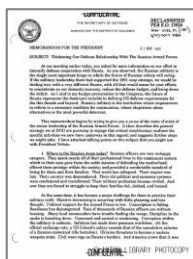
〒153-8504 東京都目黒区下目黒3丁目7番10号
TEL: 03-6910-0518 e-mail: online@kinokuniya.co.jp

デジタル情報営業部

ProQuest

Part of Clarivate

収録文書例



Thickening Our Defense Relationship with the Russian Armed Forces

米国防長官であるレス・アスピンが、アメリカが打つべき更なる手立てをクリントン大統領へ提案しています。それは「強固で本質的な関係 (thick substantive relationship)」「個人レベルでの密な信頼関係 (intense personal engagement)」を築くことであり、資金援助等、米国がロシアへの関与を今後働きかけるべきだと、アスピンは主張します。さらに、米国がロシアと軍事的な協力関係を築けなければ、「ロシアは現在も進行しているロシア革命の向こう側へ行ってしまふ (they will go over to the other side in the ongoing Russian revolution)」とも述べ、米国の関与の重要性を訴えています。



The Secretary's Meeting with NATO SYG Manfred Woerner, March 3, 1993

NATOの事務総長であるマンフレート・ヴェルナーが、1993年3月1日から3日にかけて、ワシントンD.C.を訪問し、クリントン大統領、アンソニー・レーク国家安全保障アドバイザー、ウォーレン・クリストファー国務長官と会談した内容を要約した電報です。NATOサミットの開催意義、東欧諸国に対するNATOへの関与の働きかけの強化などが議題であり、NATOの拡張を明確に提起した、クリントン政権の最初の文書の1つです。

契約形態

- ◆ 既刊全コレクションの年間購読
- ◆ コレクション毎の恒久アクセスライセンス
※年ごとに維持料金あり。ただし、過去にDNSAのいずれかのコレクションを購入し、現在維持料金をお支払いいただいているお客様は、新たなコレクションの購入によって、追加の維持費が発生することはございません。
- ◆ IPアドレス認証方式・同時アクセス無制限
- ◆ 個別にお見積申し上げます。お気軽にお問合せください。

関連コレクションのご案内

- ◆ **Soviet-U.S. Relations: The End of the Cold War, 1985-1991 / 米ソ関係、冷戦の終結**
冷戦の終結と1980年代後半の新しい国際秩序への移行に関する、米ソ両国政府の貴重な一次資料1,911点（うち、ソヴィエト側の資料は227点）をご覧いただけます。
1985年のジュネーヴ交渉から1991年マドリードの中東和平会議まで、レーガン・ブッシュ両大統領によるゴルバチョフ書記長との一連の米ソ首脳会談の完全な筆記録を収録します。
- ◆ **The Soviet Estimate: U.S. Analysis of the Soviet Union, 1947-1991 / アメリカ諜報機関が見たソ連**
CIA・国防総省・国務省などの諸機関が保有していた600点以上・約14,000頁にのぼるソ連関係の調査報告書類をデータベース化し、CIAのスパイとして最大の成果を取めたペンコフスキー（後にソ連にて処刑される）の報告文書、1945年-72年の米ソ核軍拡競争に関する国防総省の内部資料など、アメリカによる多様な報告活動の記録を収録します。
- ◆ **U.S. Nuclear Non-Proliferation Policy, 1945-1991 / アメリカ核不拡散問題**
国防総省・国務省・エネルギー省などの所蔵に基づく約2,700点・14,000頁の資料を収録し、第二次大戦直後から東西対立の時代を経て冷戦終結に至るまでの、アメリカの核戦略の発展・変容過程を明らかにします。

日本販売総代理店

BOOKS
KINOKUNIYA
紀伊國屋書店

デジタル情報営業部 email: pqhelp@kinokuniya.co.jp